

第 5 章

保健予防業務関係

第5章 保健予防業務関係

1 感染症予防対策

感染症の届出等や施設等における集団発生時には、積極的疫学調査、保健指導等を実施し、感染症のまん延防止に努めた。定点医療機関からの報告により感染症の発生状況を収集し、管内市町医療機関等に情報を還元している。また、デング熱の70年ぶり国内発生や西アフリカでエボラ出血熱の流行に伴い、関係機関を集めて対策会議を実施した。

(1) 感染症対策会議

開催日	内 容	参加団体
平成26年12月16日	エボラ出血熱について 感染症サーベイランスについて	10

(2) 感染症の届出状況と積極的疫学調査

(平成26年1月1日～12月31日,単位:件)

病 名	届出件数	疾患名	疫学調査数	検査依頼数
一類感染症				
二類感染症	22	結核17・潜在性結核感染症5	17	
三類感染症				(2)
四類感染症	9	つつが虫病、レジオネラ	1	
五類感染症	3	麻しん・侵襲性肺炎球菌感染症	1	1+(5)
総 数	34		19	1+(7)

* 検査依頼の()数は、疑い事例で、検査後否定されたもの

(3) 感染症の集団発生の疫学調査・指導等

(単位:件)

施設種別	件 数	疾患名	患者数
介護老人保健施設	1	インフルエンザ	9
介護老人保健施設	1	インフルエンザ	34
介護老人福祉施設	1	ノロウイルス	12

(4) 集団かぜ・インフルエンザによる学級閉鎖等状況

施設	2013(平成25)年度					2014(平成26)年度				
	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	欠席者数	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	欠席者数
幼稚園	6		3	8	79	3		2	2	24
小学校	10		4	16	165	8		2	13	112
中学校	2		1	1	18	1			1	37
高等学校										
計	18	0	8	25	262	12	0	4	16	173

2 結核予防対策

結核患者が適切に治療を継続できるように、訪問等で療養生活の支援を行うとともに積極的疫学調査や接触者健診を行い、感染拡大防止、接触者の不安の解消に努めた。また、医療機関と連携し、結核患者を早期発見し、治療中断者をなくすため結核医療従事者研修を開催した。

(1) 結核患者の状況

ア 結核登録患者数

(ア) 登録患者数年次推移 (各年12月31日現在, 単位: 人)

区 分	昭和 58 年	平成 5 年	平成 15 年	平成 26 年
結核登録患者数	176	129	51	25
活動性結核患者数	91	44	23	13

(イ) 性、年齢階級、受療状況、市町別登録患者数及び有病率 (平成26年12月31日現在, 単位: 人)

区 分	総計	活動性結核										有病率 (人口10万対)			
		合計	活動性肺結核					肺外 活動性 結核	不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	潜 在 性 結 核	結 核	活 動 性 陽 性	嗜 痰 塗 抹 陽 性	
			計	嗜痰塗抹陽性		その他 の結核 菌陽性	菌陰性 その他								結核
平成 24 年	22	6	3				3		3	14	2		7	5.4	
平成 25 年	19	2	2	2	2					15	2	1	4		
平成 26 年	25	13	7	5	5		2		6	12		4	4	11.8	6.3
男	20	9	6	4	4		2		3	11		2	2		
女	5	4	1	1	1				3	1		2	2		
0~4 歳													1		
5~9 歳															
10~14 歳															
15~19 歳															
20~29 歳	2									2			1		
30~39 歳	3	1							1	2		1			
40~49 歳	3	2	1				1		1	1					
50~59 歳	2	1	1	1	1					1		1			
60~69 歳	1	1	1	1	1										
70 歳以上	14	8	4	3	3		1		4	6		1	2		
受療別	入院	2	2	2	2										
	在宅医療	11	11	5	3	3	2		6			4			
	経過観察	12								12			4		
	不明														
市町別	南足柄市	7	4	1	1	1			3	3		3	1		
	中井町	3	1	1			1			2					
	大井町	4	2	1	1	1			1	2			1		
	松田町	1	1	1	1	1									
	山北町	4	1						1	3			1		
	開成町	6	4	3	2	2		1		1	2		1	1	
	小田原市														

イ 結核新登録患者数

(ア) 新登録患者数年次推移 (平成26年1月1日～12月31日, 単位:人)

区 分	昭和 58 年	平成 5 年	平成 15 年	平成 26 年
新登録結核患者数(人)	23	29	19	18
足柄上センター管内罹患率(人口 10 万対)	22.5	26.6	17.9	16.4

(イ) 性、年齢階級、発見方法、市町別新登録患者数及び罹患率(平成26年1月1日～12月31日, 単位:人)

区 分	総計	活 動 性 結 核							罹患率 (人口 10 万対)		
		合計	活 動 性 肺 結 核			その他の 結核菌 陽性	菌陰性 その他	肺外 結核 活動性	潜在性 結核	結 核 活 動 性	陽 性 喀 痰 塗 抹
			計	初回治療	再治療						
平成 24 年	11	5	2	2	3		6	1	9.9	1.8	
平成 25 年	9	9	7	7	1			3			
平成 26 年	18	10	7	7	2	1	8	6	16.4	6.3	
男	13	9	6	6	2	1	4	3			
女	5	1	1	1			4	3			
0～4 歳											
5～9 歳											
10～14 歳											
15～19 歳											
20～29 歳	2	1	1	1			1	1			
30～39 歳	2	1				1	1	1			
40～49 歳	2	1			1		1				
50～59 歳	1	1	1	1				1			
60～69 歳	1	1	1	1				1			
70 歳以上	10	5	4	4	1		5	3			
発見方法別	個別健康診断										
	定期健診	1	1	1	1						
	接触者健診										
	医療機関受診	17	9	6	6	2	1	8			
	その他										
市町別	南足柄市	5	2	2	2		3	4			
	中井町	1	1			1					
	大井町	2	1	1	1			1			
	松田町	1	1	1	1						
	山北町	4	2	1	1		1	2	1		
	開成町	5	3	2	2	1		2	1		
	小田原市										

ウ 結核登録削除患者

(平成 26 年 1 月 1 日～12 月 31 日, 単位:人)

計	死 亡		観察不要	転出	他の理由
	結 核	結 核 外			
15	1	2	8	2	2

(2) 管理検診

結核患者の適正管理のために、管理検診を実施した。(平成26年4月1日～平成27年3月31日, 単位:人)

実施機関	受診数	受診結果	
		著変なし	変化あり
足柄上センター	0		
委託医療機関	1	1	

(3) 接触者健診

結核患者家族・接触者に対し、接触者健診を実施した。(平成26年4月1日～平成27年3月31日, 単位:人)

計	委託医療機関	小計	足柄上センター	
			胸部エックス線検査	QFT検査
62	4	58	14	44

(4) 感染症診査協議会 結核部会

結核患者の医療が適正か否かを協議するために、感染症診査協議会結核部会を小田原保健福祉事務所隔週で開催された。就業制限(18条)、入院勧告(20条)、公費負担(37条及び37条の2)について諮問した。

ア 諮問件数 (平成26年4月1日～平成27年3月31日, 単位:人)

	18条勧告 (就業制限)	20条勧告(入院)		37条 (延べ)	37条の2(一般医療)				
		新規	延長		合計	新規	継続	退院後の継続	変更
諮問件数	1	8	27	35	30	17	6	6	1
医療内容合格	1	8	27	35	30	17	6	6	1
医療内容不合格					0				

イ 医療費公費負担診査件数 (平成26年4月1日～平成27年3月31日, 単位:人)

区分	計	37条 入院 医療	37条の2申請者の保険内訳						
			小計	被用者保険		国民保険		後期 高齢	生活 保護
			本人	家族	一般	退本			
公費負担承認	65	35	30	8	3	6		12	1

(5) 結核患者家庭訪問、相談状況

主として新登録患者や活動性結核で治療放置の者、感染性で在宅療養中の者、療養上問題のある者等に対し、医師、保健師等による家庭訪問指導を実施した。

(平成26年4月1日～平成27年3月31日, 単位:人)

	家庭訪問		相談	
	実人数	延人数	電話	来所
平成24年度	7	9	82	17
平成25年度	16	22	75	20
平成26年度	15	47	240	77

(6) 結核定期病状調査事業

病状が把握ができない結核登録者はいなかった。

(7) 服薬支援事業

県内の結核病床のある病院と保健福祉事務所の連携のもとで、治療中断者を早期に発見するとともに、治療継続困難者に対し適切な保健指導による服薬管理の徹底、多剤耐性結核発生予防や蔓延防止を図った結果、治療中断者はいなかった。

神奈川病院・保健所結核継続連絡会議 10回 H27.3.31 現在

3 エイズ・性感染症予防対策

エイズ相談を実施し、感染の予防に努めた。管内の中・高校生を対象に正しい知識の普及啓発を図るため青少年エイズ・性感染症予防講演会を開催した。(検査は平成25年度で終了)

(1) エイズ相談・検査

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
相談	21	22	13	13	18	12	3
検査	7	4	2	2	1	4	

(2) エイズ・性感染症予防対策事業

ア 青少年エイズ・性感染症予防講演会

(単位:人)

開催日	学校名	講師	参加者数
計	11校		
平成26年7月18日	県立吉田島総合高等学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 保健師	574
11月10日	県立大井高等学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 保健師	238
平成27年2月24日	大井町立湘光中学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 医師	197
2月25日	南足柄市立足柄台中学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 医師	131
3月3日	松田町寄中学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 保健師	10
3月5日	開成町立文命中学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 保健師	174

イ エイズキャンペーン事業

(単位:枚)

開催日	会場	配布数
平成26年 4月 10日	小田原保健福祉事務所足柄上センター 学生オリエンテーション	35
9月 4日	小田原保健福祉事務所足柄上センター 学生オリエンテーション	36

4 難病対策

医療支援の申請事務及び特定疾患患者とその家族を対象に、医療講演会や相談会、患者・家族の集いを開催した。また、サービス提供者を対象に従事者研修を開催した。

(1) 特定疾患医療支援

管内特定疾患医療受給者

		(H27.3月末現在)																						
		総数			南足柄市			中井町			大井町			松田町			山北町			開成町				
疾患	疾患名	総数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		
	総計	692	296	396	281	123	158	62	32	30	109	45	64	82	34	48	78	30	47	80	31	49		
膠原病	1	パーチェット病	11	6	5	7	3	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	
	4	全身性エリテマトーデス	62	3	59	28	2	26	2	0	2	12	0	12	3	0	3	8	0	8	9	1	8	
	7	サルコイドーシス	9	3	6	4	1	3	0	0	0	1	0	1	2	0	2	1	1	0	1	1	0	
	9	強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	39	9	30	12	2	10	6	2	4	9	2	7	3	1	2	5	1	4	4	1	3	
	11	結節性動脈周囲炎	10	4	6	5	2	3	1	1	0	2	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	
	13	大動脈炎症候群	3	1	2	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	15	天疱瘡	6	1	5	1	0	1	1	1	0	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1
	19	悪性関節リウマチ	3	0	3	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21	アミロイドーシス	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	ウェゲナー肉芽腫症	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	29	膿疱性乾癬	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	34	混合性結合組織病	19	3	16	8	1	7	0	0	0	5	1	4	2	0	2	2	0	2	2	1	1	
		小計	165	31	134	69	12	57	12	6	6	35	4	31	13	2	11	18	3	15	18	4	14	
血液系	6	再生不良性貧血	3	1	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
	10	特発性血小板減少性紫斑病	21	9	12	8	6	2	2	1	1	3	0	3	3	0	3	2	1	1	3	1	2	
		小計	24	10	14	9	6	3	2	1	1	4	1	3	4	0	4	2	1	1	3	1	2	
循環器系	14	ビュルガー病	7	7	0	3	3	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	
	26	特発性拡張型(うっ血症)心筋症	21	12	9	12	8	4	0	0	0	2	1	1	2	1	1	2	1	1	3	1	2	
	36	特発性間質性肺炎	8	6	2	4	2	2	0	0	0	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	1	1	0
	39	肺動脈性肺高血圧症	3	0	3	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	43	慢性血栓性肺高血圧症	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	50	肥大製心筋症	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	42	28	14	20	13	7	3	2	1	4	3	1	8	6	2	3	2	1	4	2	2		
内分泌系	56	間脳下垂体機能障害	16	8	8	6	4	2	1	0	1	1	1	0	1	1	0	4	1	3	3	1	2	
		小計	16	8	8	6	4	2	1	0	1	1	1	0	1	1	0	4	0	3	3	1	2	
神経系	2	多発性硬化症	14	3	11	5	1	4	0	0	0	4	1	3	2	0	2	2	1	1	1	0	1	
	3	重症筋無力症	13	5	8	2	1	1	0	0	0	1	0	1	4	2	2	4	2	2	2	0	2	
	8	筋萎縮性側索硬化症	4	0	4	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	16	脊髄小脳変性症	17	10	7	2	1	1	3	2	1	3	2	1	2	1	1	3	2	1	4	2	2	
	20	パーキンソン病関連疾患	96	30	66	45	12	33	7	2	5	10	6	4	14	6	8	13	1	12	7	3	4	
	22	脊柱靭帯骨化症・後縦靭帯骨化症	34	22	12	13	10	3	6	3	3	3	2	1	2	1	1	5	3	2	5	3	2	
	23	ハンチントン病	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	8	1	7	2	0	2	0	0	0	3	0	3	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	27	多系統萎縮症	5	3	2	3	3	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	30	広範脊髄管狭窄症	2	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	33	特発性大腿骨頭壊死症	14	6	8	7	4	3	0	0	0	3	2	1	2	0	2	0	0	0	2	0	2	
	37	網膜色素変性症	22	10	12	7	2	5	5	3	2	2	1	1	1	0	1	3	2	1	4	2	2	
	40	神経線維腫症(Ⅰ型)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	44	ライソゾーム病(ゴーシェ病)	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	47	脊髄性筋萎縮症	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7	5	2	3	3	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	
52	ミトコンドリア病	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
55	黄色靭帯骨化症	4	4	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
	小計	246	104	142	97	42	55	26	12	14	32	16	16	33	11	22	31	12	19	27	11	16		
消化器系	12	潰瘍性大腸炎	154	87	67	63	37	26	15	10	5	24	12	12	16	10	6	16	10	6	20	8	12	
	17	クローン病	29	22	7	11	8	3	2	1	1	7	6	1	5	4	1	0	0	0	4	3	1	
	31	原発性胆汁性肝硬変	16	6	10	6	1	5	1	0	1	2	2	0	2	0	2	4	2	2	1	1	0	
	小計	199	115	84	80	46	34	18	11	7	33	20	13	23	14	9	20	12	8	25	12	13		
2疾病あり		7	4	3	3	2	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	

新規申請件数120件 旧制度申請(91件)
 (神経系47、循環器系8、消化器系22、膠原病系11、内分泌系3、血液系0) 新制度申請(29件)

(2) 難病講演会

(単位:人)

開催日	対象疾患	テーマ	講師	参加者数
平成 26 年 10 月 10 日	パーキンソン病 関連疾患	パーキンソン病関連疾患の最新の治療と日常生活の過ごし方	国立病院機構箱根病院 副院長 荻野裕	26

(3) 難病リハビリ相談会

開催日	内容	講師	参加者数
平成 26 年 10 月 29 日	パーキンソン病リハビリ相談	神奈川リハビリテーション病院 理学療法士 土屋 辰夫 理学療法士 平田 学	6 組 11 人

(4) 難病患者と家族のつどい

(単位:人)

開催日	場所	対象疾患	内容	講師	参加者数
平成 26 年 12 月 11 日	中井町保健福祉センター	全疾患	コーラスコンサート 難病事業について	コーラスグループ レディバード	12 人
平成 26 年 12 月 17 日	足柄上センター 2階 研修室	全疾患	ハーモニカコンサート 懇談会	中井フレンズ・ナウ	26 人

(5) 難病リハビリ教室

開催日	内容	講師	参加者数
平成 27 年 1 月 26 日	絵手紙制作と交流会	絵手紙講師 山崎 喜代子	10 組 11 人

(6) 訪問相談事業

在宅の神経難病患者や新規申請者等で療養生活上の不安を抱える患者・家族に対して、訪問相談員を派遣し、家庭訪問等により療養上の支援を行った。

相談員の職種	訪問実人数	訪問回数	対象者と相談内容
歯科衛生士 2 名	4	10	対象者:重症筋無力症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病 2 人 内容:歯科相談、保健指導等(神経難病患者等への歯科保健、摂食嚥下指導他)
計	4	10	

(7) 難病特別対策推進事業

在宅難病患者の療養を支援するサービス提供者のスキルアップを図るため、サービス提供者(保健師、訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパー、歯科衛生士等)に対し、在宅難病患者保健福祉従事者研修を行った。(単位:人)

開催日	場所	テーマ	講師	参加者数
平成26年 10月3日	足柄上 合同庁舎 2階大会議室	講演 「冬のウイルス対策」	神奈川県足柄上病院 副院長 玉井拙夫 感染管理認定看護師 古谷 亜由美	31人
平成26年 11月17 日	小田原保健 福祉事務所 足柄上センタ ー 2階 研修室	講演 「口腔ケアと食事援助について」	足柄歯科衛生士会 加藤 明美	25人

(8) 神経難病患者等緊急一時入院

医療依存度が高く、介護保険等での短期入所等のサービス利用が困難な在宅神経難病患者等を対象に、介護者の休養や介護困難時に対応するため、対象者からの利用申請の受付、申請者の状況調査等を行った。

(単位:人)

利用医療機関	申請件数	利用回数 (延数)	利用者数 (実数)
県立足柄上病院・箱根病院	9	7	6

(9) 家庭訪問・相談

家庭訪問

(単位:人)

	神経系	膠原病	消化器系	循環器系	その他	計
実人数	22	1	1	2		26
延人数	42	1	1	4		48

相談

(単位:人)

面接	電話	その他	計
872	618	25	1540

5 肝臓疾患対策

(1) B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス検査

年代	計	10～19歳	20～29歳	30～39歳	60歳以上
保健福祉事務所	1			1	
医療機関	3		1	2	

(2) 肝疾患講演会

(単位:人)

開催日	対象疾患	テーマ及び講師	参加者数
平成26年 9月3日	肝臓疾患	「B・C型慢性肝炎の最新治療について」 東海大学医学部 内科学系消化器内科 准教授 加川 建弘	17 内訳 B型肝炎患者3 家族 0 C型肝炎患者 6 家族 3 その他 5

注 小田原保健福祉事務所と共催実施

(3) 肝炎治療医療費助成制度

(単位:人)

区分	申請者数
インターフェロン治療(1回目)	7
プロテアーゼ阻害剤を含む3剤併用療法	6
核酸アナログ治療(新規)	8
核酸アナログ治療(更新)	12
インターフェロンフリー治療	17

6 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、定期健康診断を実施した。また、医療援護の申請事務を行った。

(1) 被爆者健康手帳等所持状況

(平成27年3月末現在,単位:人)

区 分	計	被爆者健康手帳	健康診断受診者証	被爆者のこども受診者証
計	64	24	4	36
南足柄市	32	15	2	15
中井町	9	3		6
大井町	10	1	2	7
松田町	3	2		1
山北町	8	2		6
開成町	2	1		1

(2) 被爆者健康診断受診状況

(単位:人)

区 分	計	被爆者	被爆者のこども	要精検者	要治療者
平成25年度	2		2		
平成26年度	2		2		

7 認知症疾患対策

認知症疾患に関する正しい知識の普及を図るとともに、認知症高齢者の方を介護する家族等を支援するため、患者・家族等に対し相談・訪問指導を行った。

(1) 認知症疾患相談事業

ア 相談事業

(単位:件)

区分	開催回数	相談延件数	性 別				年 齢(実数)					相 談 内 容						再掲 高齢者虐待等	
			実 数		延 数		50歳代以下	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上	疾患一般	問題行動	治療	看護介護	入院入所	福祉サービス		その他
			男性	女性	男性	女性													
随時		48	10	12	23	25		1	7	13	1	4	16	16	2	2	2	10	
定例	12	15	4	11	4	11		3	7	4	1	3	3	9			2	1	

イ 訪問指導事業(定例相談訪問分を除く)

(単位:件)

区分	男		女		計		年 齢 (実数)				
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
件数	3	4	1	1	4	5		1	1	1	1

(2) 処遇困難事例(高齢者虐待等)検討事業

ア 認知症講演会

(単位:人)

実施日	内 容	講 師	対 象 者	参加者数
平成 27 年 3月6日	認知症の理解と対応について	ひまわりメンタルクリニック 院長 小林 博子医師 認知症の人と家族の会 世話人 三橋 良博氏	管内介護保険事業者・ 市町関係職員等	28 人

イ 認知症サポーター養成講座

(単位:人)

実施日	講 師	対 象 者	参加者数
平成26年8月19日	足柄上センター 保健師	介護予防教室 運営ボランティア	34 人

(3) 徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業

認知症が原因で徘徊する高齢者を早期に発見、保護するため、徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業を実施した。

ア 市町別徘徊高齢者事前登録状況

(平成26年3月31日現在,単位:人)

計	南足柄市	中 井 町	大 井 町	松 田 町	山 北 町	開 成 町
38	12	2	7		5	12

イ ネットワーク実施状況

(単位:件)

	件 数	発見・身元判明の有無
当所への他保健福祉事務所からの広域搜索協力依頼	160 件	105件発見

ウ 徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業運営委員会の実施

1市5町の担当者へ「徘徊高齢者 SOS ネットワーク」における実態のヒアリングを実施した。

8 精神保健福祉

住民の精神保健に関する相談に応じ、また精神障害者とその家族等への医療、保健、福祉に関する支援を行うため、医師、福祉職、保健師による相談及び訪問指導を行うとともに、各種事業により地域における精神保健福祉対策の推進を図った。また、自殺予防対策の取り組みとして、市町と連携強化を図りながら、連絡会議や研修等により体制整備を推進した。

(1) 保健福祉事務所等精神保健福祉業務統計

ア 相談・訪問指導

精神的な不調による精神科医療機関への受診や、精神障害を抱えながらの地域生活や社会復帰等について、医師、福祉職、保健師が相談及び訪問指導を行った。

(ア) 把握区分

(単位:件)

区分	実人員	うち新規	延人員
相談	85	52	423
訪問指導	13	9	28

(イ) 相談性別・年齢

(単位:件)

区分	性別			年齢									
	男	女	不明	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	不明
実人員	56	29			3	9	19	29	12	6	5	2	
延人員	289	134			20	31	87	145	34	37	66	3	

(ウ) 訪問性別・年齢

(単位:件)

区分	性別			年齢									
	男	女	不明	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	不明
実人員	7	6			1		4	3	1		1	3	
延人員	17	11			2		11	6	1	2	3	3	

(エ) 相談・訪問契機

(単位:件)

区分	実人員	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相談	85	12	6	38	18	11
訪問	13	1	2	7	1	2

(オ) 相談種別

(単位:件)

区分	延人員	治療の問題	生活の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	423	154	238	20	1	10
訪問	28	22	4	1		1

(カ) 診断名(実人員)

(単位:件)

区分	計	器質性精神障害	アルコール使用による精神行動の障害	アルコール以外の物質使用による障害	統合失調症・双極性障害	気分感情障害	連障害	神経症性ストレス関連障害	生理的障害等	成人のパーソナリティ及び行動障害	精神遅滞(知的障害)	心理的発達障害	小児期・青年期の行動及び情緒の障害	てんかん	診断保留・特異不能	精神障害と認めず	未受診	不明
相談	85	1	7	2	22	9	8		2	1					5	2	26	
訪問	13		1		7	2	1								1		1	

(キ) 特定の問題群 (複数回答)

(単位:件)

区分	計	性格上の問題	旧犯罪歴	家庭内暴力	DV	高齢者虐待	食生活上の問題	アテクション	近隣苦情	障害者虐待	該当なし
相談	433	1	1	3			1	24	1		402
訪問	28							3			25

(ク) 相談者 (複数回答)

(単位:件)

区分	計	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相談	458	189	102	72	56	39
訪問	45	13	13	10	4	5

(ケ) 担当者 (複数回答)

(単位:件)

区分	計	医師	福祉職	保健師	事務職	その他職員
相談	457	24	406	24	2	1
訪問	38	10	26	2		

(2) 教育広報活動

ア 精神保健福祉知識の普及啓発

(ア) 精神保健福祉セミナー

地域住民や支援者が精神疾患に対する理解を深め、精神障害者の地域生活を支援することができるよう、セミナーを開催した。

(単位:人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
平成26年10月24日	精神障害当事者、家族	病気や障害とうまく付き合いましょう	医療法人財団青山会みくるべ病院 院長 上山 岳彦	33
平成26年11月7日	一般住民、支援機関職員	就労に結びつく日常生活の過ごし方	神奈川県相模南東部障害保健福祉圏 地域生活ナビゲーションセンター 障がい者トータルアドバイザー 栗原 茂	31

イ 自殺予防対策

(ア) うつ病セミナー

うつ病で治療中の方の家族等を対象とするセミナーを開催した。

(単位:人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
平成26年12月10日	うつ病治療中の方の家族、一般住民	うつ病を知ろう ~うつ病の概論と治療について~	あしがらクリニック 院長 足立 嘉樹	17
平成26年12月19日	支援機関職員	うつ病体験者から学ぼう ~うつ病からの回復過程~	相模大野こころの相談室 室長 若林 菊雄 当事者 1名	10

(イ) 高齢者のうつ病講演会

居宅介護支援事業所等の支援者を対象とする講演会を開催した。

(単位:人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
平成26年9月29日	居宅介護支援事業所等の職員	高齢者のうつ病 ~その特徴と対応について~	医療法人清輝会 国府津病院 院長 物部 長承	62

(ウ)精神保健福祉酒害研修会

(単位:人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
平成26年10月7日	断酒会会員 家族 一般住民	お酒に頼らない付き合い	医療法人青山会 みくるべ病院 医師 岡崎 有恆	61

(エ) 職域研修会

(単位:人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
平成26年10月2日	三菱ガス化学株山北工場	働く人のメンタルヘルス ~こころ元気に過ごすために~	小田原保健福祉事務所足柄上センター保健予防課 福祉職	96
平成26年11月10日	わかもと製薬株相模大井工場相模研究所	働く人のメンタルヘルス ~こころ元気に過ごすために~	小田原保健福祉事務所足柄上センター保健予防課 保健師	26

(3) 団体等支援

精神障害者家族会、断酒会等の活動に対して支援を行った。

区 分	支援回数	支 援 内 容
精神障害者家族会	1	総会出席
断酒会	12	例会、一般酒害相談研修会への支援

(4) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察(法第27条)

精神保健福祉法に基づく警察官通報(法第23条)に対し、精神保健福祉センター兼務職員として平日における調査等を行った。(休日・夜間の調査等は精神保健福祉センターが行った。)

(単位:件)

区 分	通 報	調 査	指 定 医 診 察 結 果				診 察 不 実 施 (受療指導等)
			要 措 置	不 要 措 置			
				入 院	入 院 外 診 療	医 療 不 要	
計	13	13	10	2	0	0	1
平日	6	6	4	2			
休日・夜間	7	7	6				1

イ 精神科病院実地指導・実地審査(法第38条の6)

(ア)精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

(単位:ヶ所)

所在地市町村	南足柄市
施設数	1

(イ)精神保健福祉法に基づく実地審査(入院患者の精神保健指定医による診察)

(単位:件)

施設数	審査件数	審 査 結 果									
		措置入院			医療保護入院			任意入院			
		継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要	
1	6				3				3		

ウ その他医療保護事務(管内病院からの届・報告の進達事務)

(単位:件)

区 分	管内の患者	管外の患者
計	184	221
医療保護入院者の入院届(法第33条第7項)	67	65
医療保護入院者の退院届(法第33条の2)	53	63
医療保護入院者の定期病状報告(法第38条の2第2項)	63	93
措置入院者の定期病状報告(法第38条の2)	1	

(5) 会議

精神保健福祉事業の円滑な推進を図るとともに、地域自殺予防対策の体制整備を図るため、各種会議を開催した。

(単位:人)

会議名	開催日 又は回数	内 容	出席者数
足柄上地域精神保健福祉連絡協議会	平成27年 2月6日	・精神保健福祉担当者会議の報告について ・長期入院精神障害者の地域移行に向けた地域の役割について ・足柄上管内の入院患者数と退院後の資源について	19
市町精神保健福祉担当者会議	平成26年 6月6日	・平成26年度精神保健福祉セミナー実施方法について ・平成26年度各市町精神保健福祉関連事業計画について	14
	平成27年 1月19日	・平成26年度精神保健福祉セミナー実施報告について ・平成26年度各市町精神保健福祉関連事業進捗状況について	13
足柄上地域自殺対策連絡会議	平成26年 7月25日	・平成26年度神奈川県の上自殺予防対策について ・平成26年度足柄上地域自殺対策の経過と担当者会議の報告・方針について	18
	平成27年 2月6日	・平成26年度神奈川県の上自殺対策について ・自殺担当者会議の報告および自殺対策のまとめについて ・平成27年度の方向性について	19
市町自殺対策実施担当者会議	平成26年 6月6日	・高齢者の自殺対策について ・平成26年度各市町自殺対策事業計画について	14
	平成27年 1月19日	・自殺対策の進捗状況について ・平成26年度各市町自殺対策事業進捗状況について	13
精神保健福祉事例検討会議	9回	・個別支援事例の検討	54 (延)

